

平鹿病院への

アクセスを検討すべき

土田 祐輝 議員

平鹿病院開業に伴う
バス等のアクセスについて

質問 開業間近となった平鹿病院へのアクセスが大きな問題になると思う。交通手段を持たないお年寄り等に配慮したバス路線の組み入れなど、交通網の再構築を検討すべきでないか。

また、市内環状線が開通したいま、市役所から平鹿病院を経由して、旭小学校から朝日が丘団地へと市内循環バスを走らせることで、一部スクールバスとしての機能も果たせると思うがどうか。

答弁 平鹿病院は路線バスが正面玄関に乗り入れできる設計になっ



ている。今後、羽後交通と協議して乗り入れできるようにし、住民の利便性を高めるようにしたい。また、市内循環バスについては一部路線バスと競合するので、可能かどうか検討したい。

野球場の整備について

質問 県内で評価の高いグリーンスタジアム横手の唯一の難点は、選手名を電光表示できないことだ。新市建設計画に3千万円の事業費は盛り込まれているが、事業実施時期は定かでない。全国規模の大会に間に合うように、球速表示施設を含めて早急に整備すべきと思うが見通しはどうか。

答弁 18年度当初に予算計上可能かどうかを検討し、できるのであれば予算計上したい。

その他の質問事項

- ・市長の政治姿勢について
- ・指定管理者制度について
- ・バイオマスの今後の取り組みについて
- ・通学児童の安全対策について

一般質問

地域産品マーケティング

の内容とは

小笠原 恒男 議員

農業と行政との
関わり合いについて

質問 新市の基幹産業は農業である。今までの農業への関わり合い（助成は、主としてハード面が主であった。今後は、生産はもちろん、販売助成に力点を置き、可処分所得の増加に努めるべきと考える。このことは地域経済の活性化につながる。

市長が提案している「地域産品マーケティング推進準備事業」では、農家所得に結びつく役割を市が積極的に担うとあるが、この提案の概要を伺いたい。

答弁 地域の特徴を生かしながら



「担い手・集落営農組織の育成」に全力で取り組み、農家所得の向上を目指し、多様化する農業に地域特産品の販売をからませ、強い農業に育てる。消費者の視点での地域農業・農産物を見直し、今までにないものを売り、作り、アレンジする、マーケティングマネージャーのもとに準備室を開設し、横手市農業を積極的に推進する事業である。

障害者福祉について

質問 18年4月に障害者自立支援法が施行される。19年3月までに市では「障害福祉計画」を策定しなければならない。現在、横手市では通所授産施設1カ所、小規模作業所1カ所の2カ所のみで、入所希望者に十分な対応ができない状態にある。計画のアウトラインを伺いたい。

答弁 計画作成の途中ではあるが通所施設の不足は十分認識している。社会参加への積極的な支援、障害者への新たなサービスマニューを十分考えて行きたい。